



D コマンド

この章では、D で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

destination

tunnel-te インターフェイスの宛先を設定するには、**destination** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

destination *ip-address*

no destination

構文の説明	<i>ip-address</i>	IP アドレスはドット付き 10 進表記です。
-------	-------------------	-------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	TE インターフェイス コンフィギュレーション モード
----------	-----------------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
------------	------------------------------------

例	次に、トンネルの宛先を設定する例を示します。
---	------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface tunnel-te 1
switch(config-if-te)# destination 10.1.1.4
switch(config-if-te)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	interface tunnel-te	トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定します。

discovery hello

直接接続されたネイバーの保持時間または間隔を設定するには、**discovery hello** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
discovery hello {holdtime seconds | interval seconds}
```

```
no discovery hello {holdtime | interval}
```

構文の説明

holdtime	検出された LDP ネイバーから LDP hello メッセージを受信しなくてもそのネイバーを記憶しておく期間を指定します。
interval	連続した hello メッセージの送信間隔を秒単位で指定します。
seconds	秒単位の保持時間。範囲は 1 ~ 65535 秒です。

デフォルト

デフォルトの保持時間は 15 秒、間隔は 5 秒です。

コマンド モード

LDP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

デバイスのマルチプロトコル ラベル スイッチングのラベル配布プロトコル (LDP) を無効にすると、LDP コマンドを使用できません。

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、LDP ディスカバリ hello 保持時間を設定する例を示します。

```
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# discovery hello holdtime 10
switch(config-ldp)#
```

次に、LDP ディスカバリ hello 保持間隔を設定する例を示します。

```
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# discovery hello interval 10
switch(config-ldp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

discovery targeted-hello

すべてのネイバーからまたは任意のプレフィックス リストで指定されたネイバーからの **targeted-hello** メッセージの要求に応答するようルータを設定する、または直接接続されていないネイバーに保持時間または間隔を設定するようルータを設定するには、**discovery targeted-hello** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
discovery targeted-hello {accept [from prefix-list] | holdtime seconds | interval seconds}
```

```
no discovery targeted-hello {accept [from prefix-list] | holdtime seconds | interval seconds}
```

構文の説明

accept	targeted hello を受け入れるように指定します。
from	(任意) 受け入れられる targeted hello のソースを指定可能なプレフィックス リストを指定します。
<i>prefix-list</i>	(任意) プレフィックス リストの名前。
holdtime	検出されたラベル配布プロトコル (LDP) ネイバーから LDP hello メッセージを受信しなくてもそのネイバーを記憶しておく期間を指定します。
interval	連続した hello メッセージの送信間隔を指定します。
<i>seconds</i>	秒単位の保持時間。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

デフォルト

保持時間のデフォルト値は 90 秒です。

間隔のデフォルト値は 10 秒です。

コマンド モード

LDP コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、LDP ディスカバリ targeted hello 保持時間を設定する例を示します。

```
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# discovery targeted-hello holdtime 1
switch(config-ldp)#
```

次に、LDP ディスカバリ targeted hello 間隔を設定する例を示します。

```
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# discovery targeted-hello interval 1
switch(config-ldp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

■ `discovery targeted-hello`